

SHIZUOKA

手をつなぐ

Vol.36

Published on
February 10th, 2025

- 02 静岡県手をつなぐ育成会 小出会長挨拶
- 03 全国手をつなぐ育成会 佐々木会長挨拶、2024年度年間活動
- 04 育成会の視点から防災を考える（能登半島地震）
- 05 （熱海市、静岡市清水区）
- 06 県内育成会活動（職業自立啓発セミナー・児童部会・就労支援部会）
- 07 保険制度
- 08 各育成会から一言



発行 静岡県手をつなぐ育成会



静岡県手をつなぐ育成会
会長 小出隆司

の備伝考現波ウでそよと興襲間た県9発6マ会て防
垂住え達え地にムキのうこがい前だ育力生年で東は今災
直宅、手さで加がるよなろよまにく成月し正も海、回
避被大段せのえ行こう無にうし同予会たた月あ北第の
難害雨のらおてわとな常、やた地定会っ石にり陸5テ
「に確れ話豪れ」状な振く。域で長た川最ま大6
ではよ保まは雨まと況気り軌道をしよ現県大し会回マ
は、「る、し、災し題の象出道れ記たり状能震た岐手
な2濁事た我害たし中災しに氣録が、を登度。阜を防
く階流前。がの。て、害に乘味的、お含半7当大つ災
なにの特事生地シ災で戻ったな大詰め島の初会な
避ど対耐にと々震ン害しすてつ豪会して北激はのぐに
難へし震情しし。ボ時たかきた雨1て石部震令テ育つ
所での報てい津ジに。のた復が週い川のが和し成い

い人育投人が保いに員育教票といをそつう平ぐ動拳うたの立選
くた成票のつれ護ま投会館えバ育て支しい大林親をでちテ士啓
必ち会にたいば者し票のにてり成、援てて切様の行のとの一
要のとはめて投のたを方おいア会県す、「おなに会っ投
が権しル戸く票同。体々いたフがのる知話制、て票
あ利て、惑れ所行模験のてだり話市た的し度民森いにてを、「さ」
りのものルいまのは擬す支静きし町め障いで主井るつ
ま行十ががす事禁投る援岡、を合選の害たあ主会泊い
す使分あが務止票模を市午進い挙取者だる義長江で
。を勉りり、従でと擬受選後めを管りのきのと市先
令支強まま知事、言投け挙かる持理組投ま選根副手駆
和援しすしら者必え票て管ら手っ委み票し挙幹市を的
7してのたな2要どを実理は法て員に行たを長つなのめ
年で本で。い人でも行際委体を投会つ動。に担のな活
選に私回

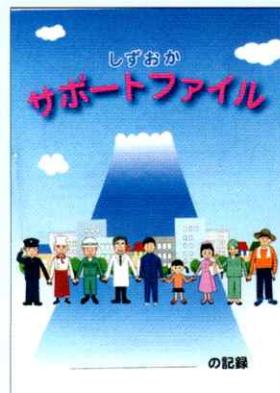
上び援おだへどの
げ関くりいのも皆静
ま係だまて原た様岡
すすさすい動ち、県
る。の力へ障手
皆てまことのがを
様いたとし思いつ
にる、ていにな
深福献心結を立ぐ
く祉身強集育ち育
感事的くし成向成
謝業に思て会か会
申者ごい活う会
し及支てた動子員

要をわ地う避象見を最いへ
と我り域と難情交つ近と逃
思が、のの指報換な、命げ
い事配防こ示に会ぐ氣をる
まと慮災とはつに育象守
すしがにで都いお成庁れ立
て必つす道てい会となち
進要い。府はて連全い退
めなて市県提、合育とき
る人積町市供氣会連思避
こへ極育町で象い難
との成村き庁と全ま
が対に会がるはの国し
重応関は行が氣意手な
。

と生なのの級らる束通まス労い近るをせ極児的まはいいに育成
を活役こ意のの、を勤しキする、こ伝て端童。せうなお近成
「習割と識人自社守、たるるジ企とえ職に期発ん概話いい年会
次慣はでをに立会る。○に際ヨ業でる業少の達がに題求て、活動
のと、す持、人、挨○つにブ現はこ準な保障、申が職、國動
世働自。つど○と○拶毎い身コ場なと備く護害学し出者職の役
代く立育てう通し仕、日てに、いが性、者児齡上まが業障
に習生成もし信て事身通おつチ直で困のこの期げし目準害割
伝慣活会らて制のとだ勤伝けか接し難訓の育増るた立備者に
えをの活い働高意遊し、えてら支よに練時成加児こ。性雇つ
るつた動たく校識びな自いお、援うなの期会に童とてが用い
こけめのいのや、をみ力たきーをかっ必に会対はのき整委て
とるに大、か支親分、でだた般し。て要合員しので原たっ員
だこはきと、援かけ約のきい就て最い性わがて知き因とて会

用ル子害願てダ非問域福すと町はくやは者い、「、題コ祉。選の参
だ資、職し選をわがミ従県挙首議
さ料本業ま挙作が深ユ事内投長院
いが人自すに成市刻二者市票選選
。満向立。積し、化テ不町の、(
載け啓、極て町しイ足は機87
での発第的育のて、「、会市月
す選セ3に成選おの医少が4、
。挙ミ2ご会挙り衰師子多町
是マナ回參活力ま退不化くの10
非二、知加動レすな足やあ議
ごユの的をとん。ど、障り員
活ア冊障おし、是の地害ま選6

と思
います。



勧会ま才障にサガリ保師重す付さ權障健療へ障級が障
めです。害立ボ重ま護。要。決れ利害福育の害で年令害
し年。デ基ち、要す者病な書定るは児祉手唯基8間和基
ま金こイ礎まトと。が院こ類はわあは手帳一礎016年
す学れス年すフな生医にとの医けり、帳所の年円で4月
。習をク金。アリま師書はみ師でまニを持現金を100
会活がデマイまれにい書でのはす十所者金は越え万障に
を用發ジたルすて伝てき審診あが歳持あ支、え万障い
行し行タ。かえもな査断り、かしる給成て
うてさる全のらるられさ書ま誰らいで人お円害て
こ支れ。育記しの内うてれにせも受けはのり越基
と部てビ連録ず生容こいまよんが給る精り障まえ礎
を育おデかがお育にとるすり。給す発神ま害す、年
お成りら役か歴よと医。ま給付る達保す者。2金
。

け募し制 まわの被ら全 全規 しよこ人あ方組し関行てまさ取 すた全皆
 しりた定そした職災義国東育模近いとひるのんて誌っ防しいり今 。だ国様静
 して「場しのたり員地援の日連災年いこ」とご経で、て災たと組回
 き被合「後。支のに金会本で害、まと自り家験い国手いのがいみ、
 ま災、國、 援皆育を員大はが日すな治が族をるがをま具、うに全
 し者皆が「 様成募や震、起本。ど体取を通こ災つせ体実ごつ國
 たの様激義 行に会る関災平こで をにり抱しと害なん的は依い育
 「方か甚援 つ、「関こ係」成っは 定働組えて「にぐ。な、頼て成
 またら災金 て1係と者の2て、 期きんた知被つし取全を書会
 たち義害規 い年のにのお3い様 的かだ皆的災いのかり育いいの
 「に援に定 た以事加皆り年ま々 にけらさ障さて特し組連たて防
 「お金指 だ上業え様にのすな 揭たよん害れ取集、みとだく災
 災届を定を きに所「か 大載らい一のたりと機はしきだの



**全国手をつなぐ育成会
会長 佐々木桃子**

すよ地で層状障の し育液に口 たたため外が議し局も日震 認るさ災
 り域すな況害取災て成等はナま 。るら、に、会まをににが昨をたんさ事
 のかどものり害き会を「ウた と、今避会のし訪、久起年しめもれ務
 少事ら地様あ組にま関感マイ、 い現後難員方た問被保こはて、避て局
 し情、域々るみ関し係染スル2 う地直さのが。し災顧り、い時難いの
 づ、ご事でごはすたのしクス0 こに接れ皆現そ、3問、元た間さる皆
 つご家情す本様る。事た。感2 と行支た様地の被県 1日だをれこさ
 違家庭も。人々全 業会防染年 にき援方もに後災の又月にいかてとん
 う庭で違地。で国 所員護症来 い、をも市赴、状育村 1能てけい、ご
 とのい形ごす各 にの服のの た支求あ町き事況成常7登いてるま自
 思状備まや家。自 お皆。拡新 届様消大型 し援め、外ま業を会務、半ま安方た身
 い況えす活族ま治 けや毒時コ まにらたやし所確事と 1島す否も会も
 まには。断のた体 し当れた県た協認務と 8地。確い員被
 ま況る務 た金一 め

すの関局 しと口 の被害
 の調係に現ましに手資災支
 査では地してつを金地援
 を、「のた積きつをに基
 し会義都。み、な作直金
 て員援道 立年ぐる接規
 いさ金府 て額 た支定
 たんを県 る5のめ援
 だのお育 こ0贊、も
 い被届成 と円助機行
 て災け会 とを会関く
 い状す事 い基費誌た
 ま況る務 た金一 め

いて要 思周施福 かもどを用個計 要イ地すも計名 おけ大の日らでかかたそれと
 ついなぜい知設祉さ。必各盛計別画よで夕域。自画簿まくあ事会ごなつられ備れもいよ
 てく防ひますや避ら 欲、災、する学難に いん策れ とは協会
 しそ対そ。こ校所、 となをぞ も、定員
 願地皆れ 大どをさ 域さの 切こ結ん
 てをん地 でなんに あので向 あるかいけ
 い作で域 まっ考に とれるかいけ
 すてえ必 とをる、 とをる、

かもどを用個計 要イ地すも計名 おけ大の日らでかかたそれと
 ついなぜい知設祉さ。必各盛計別画よで夕域。自画簿まくあ事会ごなつられ備れもいよ
 てく防ひますや避ら 欲、災、する学難に いん策れ とは協会
 しそ対そ。こ校所、 となをぞ も、定員
 願地皆れ 大どをさ 域さの 切こ結ん
 てをん地 でなんに あので向 あるかいけ
 い作で域 まっ考に とれるかいけ
 すてえ必 とをる、 とをる、

かもどを用個計 要イ地すも計名 おけ大の日らでかかたそれと
 ついなぜい知設祉さ。必各盛計別画よで夕域。自画簿まくあ事会ごなつられ備れもいよ
 てく防ひますや避ら 欲、災、する学難に いん策れ とは協会
 しそ対そ。こ校所、 となをぞ も、定員
 願地皆れ 大どをさ 域さの 切こ結ん
 てをん地 でなんに あので向 あるかいけ
 い作で域 まっ考に とれるかいけ
 すてえ必 とをる、 とをる、



2024年度県育成会の動き

活動の詳細はホームページに掲載 <http://www.iku-fukushi.jp/index.html>

9月	8月	7月	6月	5月	2024年4月
7日（土）知的障害者職業自立啓発セミナー			22日（土）午前：市町手をつなぐ育成会代表者等会議、午後：第65回県育成会大会	17日（金）第1回理事会・評議員会	県社協助成金実績報告書提出
12日（水）第1回就労支援部会					18日（木）第1回常任理事会
28日（土）第56回東海北陸大会・岐阜大会					24日（水）監事監査
3月	2月	2025年1月	12月	11月	10月
19日（水）第2回理事会・評議員会		18日（土）知的障害者相談員等研修会	5日（木）～9日（月）第33回愛護ギャラリー展	15日（金）第37回静岡オレンジマラソン大会	3日（木）第2回常任理事会
					12日（土）～13日（日）第10回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会秋田大会

育成会の視点から 防災を考える

能登半島地震



ン準のト備育皆が得に会のらお活各られい動地域と幸気においづ災害でき害るすやへ今。ヒの後

■ ■ ■
令水静令熱令令能和害岡和海和和登4市3市66半島清年伊年年豆9月1月1日・豪雨災害水区台風15号

言と動くの経頂。とと大験本き取しと変さ特まりてもなれ集し組、に状たでたむ知、況方は。べつ今を々きて後おか実こおの教らしく育え被にを成い災災ごき会た当害助こ活だ時を

わ中配がは深避共た本しも握遮し地地で織県ゆ泊慮、阻い難に。人たあ地す断てと区あが内石る生が実害地し地そにこり震るに、なるあ市川福活不際さ域た元の命と、のよイっ約。り町県祉を十はれ性。の後にが家発にりんた二能、に手避続分避なが住公、係幸族生長、フ。百登会1を難けな難かあ民民多わいとが時行ラ多名半員8つ所る場所つる同館くるしー元間政のくの島数のなは方面でたの士やの被て緒日を側被の会地は地ぐ、もも障とでの学方害かのと費が害集員震約区育停いあ害言、関校がは、時いや全や落、で千育成電たり者い障わな家な会にうし体通ががは二成会も。へた害りど族か員発こたを信孤被、百会は、あい車のい者のにとつと災と。把の立災6名組、

た人のるラ●たほ可段べも●の連こいさのと欠とき大本家絡とんらでん。し。切人はははグに役ど石てそ。及被早重ル、にが川、の發び害か要、地立自県スた災会がっ。ブ域た宅でマめ後員大た実でのなのは、に、のき。際つ育か固、ト、早安い返にな成、定会フ移期否所事ラが会た電員オ動に確でのイッ会。話名ン通実認あなたて員だ簿が信施がついでいが、つが不手す最



育成会が発災時に取り組むべきこと



月障な和陸上2害ぐ6大記9日者育9月相成月岐手講員東8日大つ内研地及容修区か会連静岡びシ育から令合6年知的10抜粋和会手ム(令北

(石川県手をつなぐ藤井育成会)

この●防災標もが災係にが大訓づのも助切練くつけな合私本がえ達人が共取連生りれ社組て会むい地く

メッセージ

れ緒難と者●活●ケの●ばに場実本い復用災、で建良グ所家人う興が害ス、築いルとがか言の可時が地基の、なあら葉検能に多震準でプるれ見が討。はい時をす木強ばて出の、にクリアし避難場所としている

グループホームの有用性



不 け木葉だ警でた聞きキすと校 さ不弟的て娘き流家大たくべはやりはな症行山起帶し
安したテのけ察にとに、ユるのだ役れ安とにいへなにか声はなて、つ捨パって止側きがたあ
定かこル違だ。満聞市親し事が所2のは窓た3い阻らでずかが自とてニテ、めもた鳴。の
にしとのいっ民員く内戚隊か。よ週ま面か私歳。ま娘叫のっ土宅の、ツいこで海!りあ日
な、は部はた生だ。木のもなそ障り間ま識らの、当れがぶ自た石もこ道クるだ帰側、の、
り2唯屋あの委とすテ家入いの害電後。が助弟時そ出と宅。流近とな状かわれに慌弟日私
「か」をつか員断ぐるにり状た者話に祖あけが偶ばて、の土に所でき態不りな降てかはた
泣月の確たと、らにが身、況めス。見母る出い然自にき保方石のの辿道だ安のいりてら仕ち
きが救保が落書れ向避を娘。自ペ避つは程さた片宅行た護へ流み家りをつを強。て家「事の
出限いし、胆類たか難寄とそ分、難か家度れ。付にく。さ娘の込も着探た通い重もに土だ生
し界だてそす上。所せはのでス所とて娘けはこでれの先ま道いし。り娘度す向砂、活
、「。ついれるの行たとて合後何ははた共おいは祖ともて名にれ路た走車越はのべか崩たは
夜娘たたで。こ政がない流レと無小。に互た奇来母も土い前あても場るをしど自てうれ。一
もは。だも言と。するでスかし学 流い。跡とで石たをつ全す所。乗私う閉通が携変

人いづなれ崩なこ付 行ればて事●でガル薬クの状がの●へきに入も仲の お娘うか難 るな眠
「た、けまれかとき私もず、も者木こ、ではレミ態必身災 皆るな居あ間理被互はよな所私よりれ
知か助れしたつで合の手、郵らのテだ3は手ジでで要着害さよがりや事災い心うけかはう事ず
人もけばた家た、い場間キ便えみルわ0食配ッ使すかのはんうて決、市長かイ無にれら書に業、
「しも、。のが母が合取ヤ局な、へり日事しト用。もま突にやま希議やらラい動ば役類な所私
同れ呼娘こ中、を子、ツでか面避の間提て力は●わま然伝なつ、望会保2イ言けな所のつにから
僚まべはのかー助供自たシはっ会難あ每供も、必現かでやえとたす議護かラ葉ならや手たもは
「せず誰近ら人けの宅。ユ居たの所る日さらド要金ら生つた事。る員者月しをいな関続。行
公ん、に所助残る頃は的。一も付けさこか実機親人気き出れとら家関戚死付合したはあで等、んかいて娘でつ近
い友でれがくはきた所

時清路 への不然どに 障の水2 へるでま水
4水冠9当ス便にの要こ1被10会会こ、で被台
1区水月会トさ始報すの件害件員と日1害風
分で浸2のレはま告る災
△大水4動ス、つは方害
清規が日きと当たなやで
水模始な事生か慢医
育断まり者活性療
成水る夜ま。環た疾の
会発。中し家境も患支
グ生1かた族ののの援
ル。1ら。に変の悪を
1時道相化、化緊
ブ2当や突な急

障の水2 へるでま水
1被10会会こ、で被台
00員と日1害風
1、数のを常2が1
0自床2被身生日大5
件4災を活間き号
、家上6状ものとくで
屋用浸家況、維い、は
外車水族)つ持う特
給等7の知が長に清
湯(バ件うり困期完水
器イク床、ま難の全区
の倉下断故浸水ましに断復の
たな水旧浸

その時、私たちは



う更のあくかのなラて金 きろ
へとな日り届ら時くシし ままい
熱思る、がきの、てなまもたしろ
海い、かと、支育はどっ大、たな
市まらう本援成な生た切現。人
てすの3ご当が会り活ので実
を。縁年ざにどのま用ですで
つ、い感こたせ品、。は
つなぐ育成会 を新ま謝よくんを下すや
田中治美 作しししりさでー着べは
ついたてもんしかかてり
て場。いーのたらら流「
い所、ま番方。歯洗
こであす早々こえブれ
。」

へしイて係にて各て●電送電会 達る題数
静まドお機応加お会おふ話で話員9手ことがた
岡しラく関ええく員くだ番被での月段とし3だ
市たイことるてこのこん号害連安2をて分
事務水局手長をつ遠藤真理成会
清。ンとの事会と状とかや状絡否8確含●のこ
作やネが員が況●ら住況が確日実めG1の今
成●ツでか大や携名所をと認へに全L程時
の緊トきら事ニ帶簿の確れを水す会へ度点のりなとよで育集
必急ワのと、電を変認な開る員登課し入介りな成や
要時、よ支考ズ話常更しい始かこへ登ありG
性のクラ援えをのにもま場。らとの推
を対をにのま把登更考し合G電が情進今登
痛応広●要す握録新慮たはし話必報す
感がげ関請。し●しし。郵やで要伝課

ヘ続支害シ施水信等ラ
問案緒生の情有N情対発援ボヤ設等。イ
題内に以情報効S報応信物ラワ、の以。ン
が利上報發の資ン、市入降1
とで用の提信し情逐評配テ利よ手、5
成●ツでか大や携名所をと認へに全L程時
の緊トきら事ニ帶簿の確れを水す会へ度点のりなとよで育集
必急ワのと、電を変認な開る員登課し入介りな成や
要時、よ支考ズ話常更しい始かこへ登ありG
性のクラ援えをのにもま場。らとの推
を対をにのま把登更考し合G電が情進今登
痛応広●要す握録新慮たはし話必報す
感がげ関請。し●しし。郵やで要伝課

援館的際会などをかりどた実治拳道市ア演都先て的のとお支い生いる ま職「年県うたののなの。」支ら活の。践に子長ド会泊駆研障在をい援を活者こ今し業も9手想い障説体ご投方午有援は発質質報託行氏のバと江的修害り可てが尊にのと回た自立明育協票々後意者「に問疑告すこの平イし市な会者方能、重重お方にはせ7つを地いを館力会かの義にお行や応をたう両林ザて手活をののにそ要すい々困、受での場ら静なよニわ意答行めく氏浩、「を動行選一すの視るての難自啓い日な実域のけ障ものは岡講っ人れ見でっに私を一で総つをい挙つる人さとの、をらな害と再、市演てへまなはてくたお氏も務な行までのたられ共自日抱のが者、現事選会伝のしど「い」ち招とあ省ぐしの事めしてに己常え意らへもな前拳とえ感た多代たをのき会る主親てた投例、くい、の生る思のくど説管なら謝。岐理だ題思し長泊権のい。票とそ暮る意希活知を模投せ、明理りれのごに投きとい、の江者会る午にしのら昨思望や的決擬票い全、委まる言本わ票ましを「森市教の東前つて支す今決や社障定投支会面実員しな葉人たなして政選井副育講京はい知援こに定願会がす



就労支援部会

き学な心会にウ
た齡どとと參エ令
就期をしの加ル和
労青、た合しに7
部年児将同まで年
会期童来開し第1
のと部の催た2月
保進会展で。回2
護路の望す今就7
者を保や。回労日
と選護困進は支に
が択者り路児援シ
意しとごを童部ズ
見て、と中部会

たフ就し令
°ア労ズ和
シ支お6
リ援か年
テ部サ度
|会ボは
タ、|、
|本ト児
の人フ童
活部ア部
動会イ会
が、ル、
あ本推児
り人進童
ま部委部
し会員会

なでい来今成事くてり言待いがイ保「いこ
りきのも回会とこ疑を葉っまでキ護「働のま
ま、『不のは再と問作にてしきと者くかで極
へした仲安部そ確がやりしいたる樂と喜?この
沼たい』間が会の認、困情てる。選しし』だと
津。へあにたし保り報保だ今沢くてとわこ
んがり参めま護ごを護けでを毎自をのら
充いな加にし者と得者できし日分理質な
実るがし必たとて同はるたをの解問け
しこらて要。し発い士い事い生子しもれ
たとも現でまで信くのけとと活供つあばく
時が同在あさでし、つなし強すがつりい
間確じもりにきてそないてくるイも、け
と認想将、育るいしが。、思事キ なそ

The image consists of three main parts. On the left is a portrait of a man with glasses and a suit, with the text "小池百合子" (Yuriko Koike) above it. In the center is a white ballot box with the text "選挙投票" (Voting Ballot) printed on it. To the right is a large amount of handwritten Japanese text in black ink on a white background, which appears to be a political speech or statement.

（富士市本人部会 伊藤貴教）
僕は、強もくせまい。大強にななりで選挙に。
僕の勉強をくじけまい。大切ななりで選挙に。
僕の勉強をくじけまい。大切ななりで選挙に。

セミナー参加者の声

今本定多とる的りへり
票本定多とる的りへり
浜方にしとくの人回を
松の社て共を大たの体
市參会のに学切ち自驗
浜考參自、ぶさの立す
北に加覚ごこ、人セる
手なしを本と支權ミこと
長をりて促人が援のナと
つまいし自出の尊！が
伊なしくな身來在重を出
藤ぐた支がのたり、通來
基育。援ら社と方自じま
久成の積会感な己、し
会在極人じど決ごた。

た交 とひ知度しな問②ス地
°換他思実しあたど題富ク域富
ものい現てこ。要、士の士
あ地まのいのス望③特ル通宮
り域す方る場クとオ支バ学か
、の。向とで、しムのスバら
有児 にのもルてツップのスは
意童 進こ取バ出代、利の、
義委 んとりスさ補ル用問①
な員 でで上にせ助のに題富
部と 頂しげつてに老つ。士
会の きたらい頂つ朽い高宮
で情 た。れてきい化て等北
し報 いぜ承はまでの、部

変をし抱と知直だや明 部て
。わ取てえ思つ接さ質がは会頂今
りいてうて話つ疑あじにく年
て巻くいともをして応りめ出こ度
いくこるとらすい答‘に席と
く環と問もえるまに各県しに児
の境で題に入る中しも委行まな童
だ‘学や‘大でた熱員政しり委
な障校課私事課。心とかた‘員
と害や題たな題行にのら。第を
感児子をち場や政答意の 1務
じ福供声がで問のえ見行 回め
ま祉たに日あ題方て交政
しがち出頃るをとく換説 童せ

兒童部會

障害のある本人とその生活を支える家族を守る保険制度

◆生活サポート総合補償制度◆ <https://zensapo.jp/>

一般社団法人全国知的障害児者生活サポート協会は、2006年11月に、知的障がい児者・自閉症児者とその家族の生活上での安心と福祉の増進に寄与することを目的として設立されました。当会にご入会いただくと、病気やケガによる入院や賠償事故などを補償する「生活サポート総合補償制度」をご利用いただけます。「生活サポート総合補償制度」の特徴として、下記があげられます。①入院給付金は既往症やてんかんも補償、②個人賠償（本人のみ）は最高3億円まで補償、③入院時に保護者（介護人含む）の付添や介助が必要になった時、にちがくをお支払い、④虐待などの被害事故・逮捕・勾留に対応するための弁護士費用を補償、⑤就労中のトラブルも補償、⑥年齢にかかわらず、知的障がい児者、発達障がい児者（自閉症児者を含む）の方であれば加入可能、⑦24時間安心補償、⑧施設財物を壊してしまった時の修理費を補償。

なお、2025年4月1日から下記改定があります。

- 個人賠償責任補償に「施設等管理下財物復旧費用を新設します。

日常生活において、被保険者（=補償を受ける方）が施設の壁や窓ガラスなどの施設管理財物を損壊した場合に、法律上の損害賠償責任の有無を問わず、修理するための費用について年間50万円を限度にお支払いたします。

- 身寄りのない障害者の賠償事故を新たに補償対象とします。

被保険者に「施設等」を追加することにより、補償が可能になりました。

- 加入者証記載の被保険者本人の事故のみが対象となります。

被保険者本人の親権者・配偶者・同居の親族・別居の既婚の子などが発生させた事故は、個人賠償責任補償の対象とはなりません。

- 掛金（1年間）の変更をします。

- 被保険者：知的障がい児者または発達障がい児者（自閉症児者を含む）

- 問合せ先：ジェイアイシーセントラル（株）静岡営業所

TEL : 0120-758-625



	補償プランA	補償プランB	補償プランC
改定前	19,500円	25,200円	22,000円
改定後	24,270円	30,170円	26,960円

◆手をつなぐおたすけプラン◆ <http://zen-iku.jp>

当制度は一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会の本体事業です。本会の会員や障害のある本人を対象とする福利厚生事業である【おたすけプラン】は、主にご家族、支援者等の病気やケガに備える所得補償保険である【おたすけプラン・暮らし】、国民の2人に1人が患うとされている「がん」の補償に特化した【おたすけプラン・がん】、年齢に関係なく加入でき自転車の自賠責保険を兼ねることもできる【おたすけプラン・日ごろ】、認知症を中心とする要介護状態へ備える保険【おたすけプラン・介護】が用意されています。

- 【暮らし】：被保険者（障害のある方のご家族、ご本人を支える支援者、一定の所得のある障害のある方）が病気やケガで働けなくなった時、収入をサポート。
- 【がん】：がん診断、入院、手術、治療、先進医療等の保険金が受け取れます。
- 【日ごろ】：傷害総合保険、特定感染症危険補償特約、個人賠償責任補償特約のセットプラン。
- 【介護】：介護が必要になった時に大切な子どもの負担を軽減するため介護一時金が受け取れる。

- 加入対象者：各市町育成会の会員とその家族

- 問合せ先：一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会

TEL : 03-5358-9274



◆ぜんちのあんしん保険◆ <https://www.z-kyosai.com/ansinhoken>

ぜんち共済株式会社は、長年にわたり、障害のある方のご家族・支援者様へ保険サービスを提供してまいりました。これからも、皆様にご満足いただけるサービスを提供し続けると共に、より多くの障害を抱える方々をサポートして参ります。ぜんちのあんしん保険は、①1泊2日以上の病気・ケガによる入院を保証、②個人賠償責任補償、③権利擁護費用保険の3大保障が特徴です。

- 加入対象者：知的障害、発達障害（自閉症スペクトラム症、ADHDなど）、ダウン症、てんかんに当てはまる方とその家族、親族。身体障害のある方。精神障害のある方。

- 問合せ先：ぜんち共済（株）

TEL : 0120-322-150



各市町育成会が取り組んでいる防災対策又は取り組みたい防災対策

育成会名・記載者
防災に関するコメント

浜松市浜北・伊藤基久
地域協働事業「浜北フォーラム」「事業所説明会」の再開

掛川市・高木敏男
地域とつながる大事にしていきたい。地域の防災訓練に参加することが第一歩。

御前崎市・水野正教
施設と連携し、安心できる避難場所確保を協議しています。

磐田市・高橋隆代
市の避難行動要支援者名簿登録ができる該当者を実際にあったものに改善したい

菊川市・服部秀俊
防災訓練を自治会や民生委員に委ねて実施。メールグループに有事など配信・確認。

袋井市・早川俊之
防災対策研修に取り組みたい。(自宅避難に備える準備とは)

森町・藤原幹恵
障害に特化した「要支援者名簿、個別支援計画」での事前トリアージを要望

浜松市・小出隆司
SNSを活用した会員安否確認と、各家庭に必要な備蓄品の準備促進

藤枝市・河原崎守也
成年後見人制度の講演会を実施。防災訓練は会員各家庭への参加促進。

焼津市・田村正志
水、トイレの備蓄。障害児者防災訓練の継続で、命を守る意識も継続!

静岡市清水・遠藤真理
災害は自分事。避難行動要支援者名簿、会グループLINE登録推進中!

静岡市静岡・中村章次
仲間と一緒に地域の宿泊型避難訓練への参加、体験を呼びかける

吉田町・藤田洋司
青年講座で毎年、様々な防災学習・体験を行っております。

島田市・杉本斉
福祉避難所の公表と共に市内福祉避難所マップの作製。

牧之原市・間渕安恵
市の防災部会と協力し、年2回訓練や避難所体験に参加。今後防災宿泊体験をしたい。

川根本町・後藤勝
防災訓練の時には指定避難所に行くように訓練。作業所には常にヘルメット、非常食等常備。

活動休止中；河津町・南伊豆町・西伊豆町・湖西市

富士市・金谷弥生
年2回の防災の勉強会で学んだ知識で自助努力。そして地域と人と繋がる。

富士宮市・高橋房恵
市内を7つの地区に分け、顔の見える助け合い。そしてつながろうラインで…

小山町・臼井美喜子
地元の防災を学ぶ事。役場の防災担当との意見交換会を開催済み。

裾野市・阿部征雄
福祉避難所を利用した災害時避難所開設・運営訓練を実施したい

沼津市・尾藤正弘
災害時に役立つ「携帯トイレ」の備蓄について情報提供しています。

函南町・佐藤則博
避難行動要支援者の避難計画を確認し、実際の行動を皆で考えたい。

松崎町・山本政弘
少人数であり、連絡・連携を密に対策していきたい。

東伊豆町・平井正晴
毎年1回家庭訪問を行い、会員との関係作り

伊豆の国市・室伏利男
会員の防災意識向上を。

伊東市・山本真由美
R6.12.19に能登半島地震で被災された方に来て頂き研修会を開催、今後は机上訓練ができると思います。

三島市・秋山裕子
地区を分けLINE活用、福祉避難所に直接避難を目指す!個別避難計画作成

熱海市・城之内鈴子
非常食の試食会を開催し、未参加者にも配布。今後会員が望む内容をアンケートで調べ、対策を検討する。

清水町・高塚一夫
自然災害の恐ろしさを見聞し、福祉避難所の充実を痛感、町や社協等に働き掛けて行く

下田市・土屋巳貴子
防災食の試食や、防災についての取り組み方を学ぶ場を作りたい。

長泉町・奥村亮子
パニック状態などの対策で、日頃から地域との関係性や理解を深める

伊豆市・水谷照美
民生委員さん方と楽しくゲーム・食事会をしてお互いを知つて行こう!をやっています。

御殿場市・外山富士子
市危機管理課による講演会を開催し、防災トイレを配布。



元気の出る情報・交流誌
手をつなぐ

「手をつなぐ」の購読者は、全国手をつなぐ育成会連合会の賛助会員となります。

* 購読料 年間3,900円

<購読希望の問い合わせ、申し込み先>

静岡県手をつなぐ育成会事務局 (054) 254-5230 担当：鈴木

「手をつなぐ」は、知的障がいのある当事者（本人・家族）に関する教育・福祉・労働等の諸施策などの記事を中心に、編集・発行している機関紙です。当事者の事を念頭において、およそ50年近く、編集・発行してきました。文字どおり、全国の仲間が「手をつなぐ」ために役立つ情報誌です。

編集後記

今号の作成は、防災をテーマに東部地区連合会が担当しました。
編集委員：湯浅、山本、東方、尾藤、金谷、佐藤

発行：静岡県手をつなぐ育成会

〒420-0856 静岡県静岡市葵区駿府町1-70

静岡県総合福祉会館「シズウェル」3階

TEL: 054-254-5230 FAX: 054-254-6396

Email: s-ikuseikai@iku-fukushi.jp

表紙：「手をつなぐ」の表紙は、知的障がいのある人の絵で飾ります。
特集：毎月のトピックスや各地の活動・取り組みを紹介します。

ふれあい交流通信：知的障がいのある人自身のページです。本人の活動や本人の声を紹介します。

中央の動き：最新の国の動きを紹介します。

各地の動き：各地の活動を紹介します。

世界の動き：世界の知的障がい関係の情報を紹介します。国際育成会連盟やアジア地域のニュースを紹介します。